

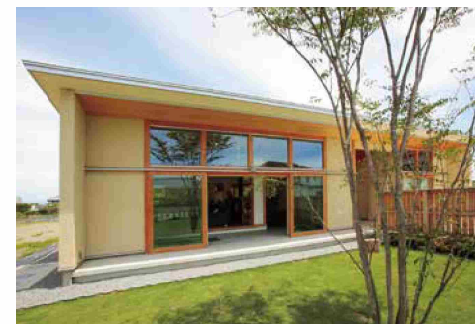
最優秀賞

GUNMA HOUSING
AWARD 2021

HP-59 本動堂の家

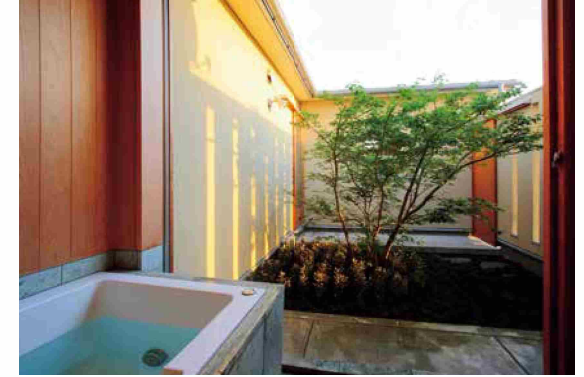
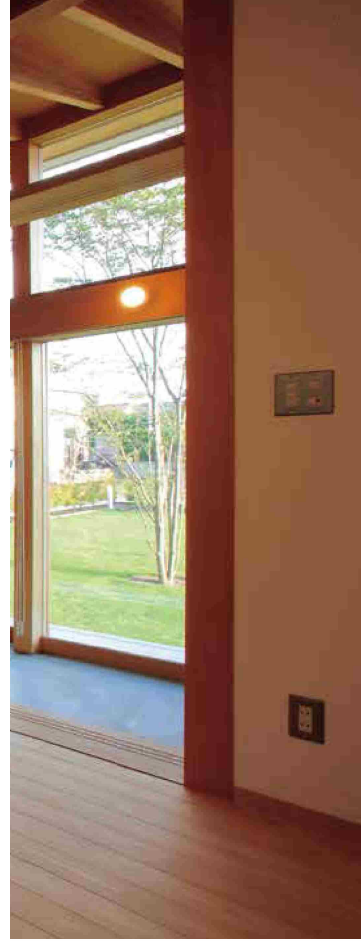
【えいちびーごじゅうく もとゆるぎどうのいえ】

設計者／WOOD'S環境計画工房 施工者／田村建設株式会社

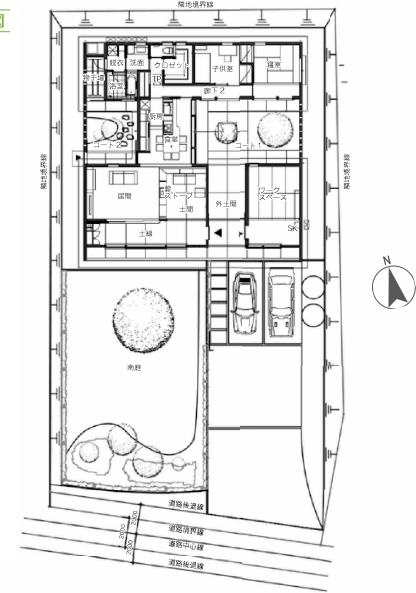


設計主旨 CONCEPT

敷地は郊外都市化が進む地域の農業が盛んな一画。ゆったりした敷地に建つ農家さんの住宅です。建主さんのご希望は平屋で、農作業空間を内包しゆったり暮らせる家をご希望されていました。南に広い庭と複数の駐車スペースを設け、外土間のポーチ空間により、ワークスペースと内部の土間空間を結びつけることで多様な使い方が可能なスペースとなり、現代生活の中に土間という原風景のイメージを残すデザインを考慮しました。建物は日型の平面形状で、南に農作業空間と土間スペースを内包しており連続する形で居間や食堂スペースが流動的に広がり、2つのコート（中庭）を中心に北側に個室スペース、水周りを計画することでプライバシーを確保しつつ明るく快適な開放感あふれる生活が可能な無垢の木と漆喰で創った住宅です。



平面図



講評 REVIEW

大変恵まれた敷地を活かし、内外の繋がりと共に全居室に快適な通風と採光を確保しつつ周辺からのプライバシーを保ち、また旧来の農家住宅のイメージを払拭したデザインが高く評価されました。

南北で明快に分けられたパブリック・ワーキング空間とプライベート空間、2つをコンパクトなDKで繋いでいる点も深く、南面を通して設けられた内土間と軒下・半屋外となる外土間は、利用状況の具体的な想像が容易で近年多作の土間を持つ住まいとは一線を画しています。

専業農家の住宅兼作業場という枠にとどまらず、コロナ禍でのニューノーマルという視点からも多様な可能性を秘めたものと思え、また、農家仕事をスマートにこなす若い住まい手とおおらかな周辺環境に建つ佇まいが相まって好印象を与えました。

平面計画が単純、軒が高い南面の木製外部建具のメンテナンスが気掛かりとの意見も聞かれましたが、セオリー通りの分かりやすくシンプルな想いを形にしている点が多くの特典を得た作品でした。